第一化成控股（開曼）股份有限公司
IKKA HOLDINGS(CAYMAN) LIMITED

2023 年の誠実性管理の実施

一、社内教育と研修

当社では、社内教育・研修を通じて全従業員に誠実なビジネスの概念を広め、業務遂行時に不正行為が行われないよう注意するよう呼びかけています。今年は、1,224 名を対象に、合計 3,672 時間のインテグリティマネジメント教育研修を実施しました。

二、外部研修に参加する

取締役および管理者が、インサイダー取引の法的根拠、インサイダー関連法、企業統治、企業秘密、内部統制関連規制、内部統制設計、および虚偽の企業財務報告や汚職や詐欺を防止するための監査手法に関するコースを含む、関連する外部研修コースに参加できるように手配します。

三、定期レビュー

当社グループ各社の各部門を対象に、誠実性に関わる業務活動のリスク評価を実施し、監査部門が公認会計士と連携して内部統制監査を実施することで、全体の仕組みが確実に機能し、不正行為を未然に防ぐよう努めています。今年、事業の誠実性に関する違反は発見されませんでした。

四、報告システム

当社は、ウェブサイト（ikka.com.tw）にステークホルダーエリアを設けています。報告/異議申し立てのチャネルに加えて、ウェブベースの独立取締役メールボックスもあります。独立取締役は、このメールボックスからメールを受信して、関連する問題と処理プロセスを理解することができます。当社のウェブサイトには、中国語/英語に加えて、日本のサプライチェーンに基づいた日本語バージョンもあり、ステークホルダーが使用するのに役立ちます。

五、ステークホルダーとの継続的なコミュニケーション

IKKA は持続可能な経営を追求し、持続可能な責任方針と経営ガイドラインを策定するための参考指標として、会社に関係するステークホルダーと効果的かつ多様なコミュニケーション チャネルを確立し、IKKA に対する彼らのニ

ーズと期待を理解することに取り組んでいます。会社の利害関係者は、専用のメールボックス チャネルを通じて貴重な提案やアドバイスを提供することができます。当社では、各ステークホルダーの意見や情報を収集し、フィードバックするために、各ステークホルダーに対応した機能ユニットを設置しております。